
450WATT BASS AMPLIFIER

35th Anniversary Model

B-450A

B-450F

OWNER'S MANUAL

**ALL PRODUCTS MADE IN JAPAN
ALL PRODUCTS HANDMADE
SINCE 1980**

ALBIT®

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注 意	
感電防止のためパネルやカバーを外さないでください。 安全のため修理はお買い上げ店、または当社に依頼してください。		



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。



警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または、重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び、物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。
※物的損害とは、家屋・家財及び、家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。



△は、注意(危険、警告を含む)を表しています。具体的な内容は、△の中に描かれています。
左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。



○は、禁止(してはいけないこと)を表しています。具体的な内容は○の中に描かれています。左図の場合、「分解禁止」を表しています。



●は強制(必ずすること)を表しています。具体的な強制内容は●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示は、お客様に必ず守っていただくことです。



警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



設置・使用場所に関する注意

- 湿度の高いところ及び本機を雨などで濡らす可能性のある場所には、設置・使用をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 火気のある場所及び、温度の高い場所、油飛びや湯気のあたる場所には、設置・使用は、しないでください。火災・感電の原因となります。
- 振動、不安定な場所への設置・使用は落下や転倒などによる、けがの原因となることがあります。



使用上の注意

- 次のような場合は、直ちに電源を切って、電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店または、当社まで修理を依頼してください。
○機器が(雨などのほか)濡れたとき。○機器に異常や故障を生じたとき。○電源コードやプラグが破損したとき。○異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき。○機器が発煙したとき
- 電源にAC100Vまたは、専用のACアダプターを必要とする機器は、AC100Vの家庭用電源または、専用のACアダプター以外で、使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを乗せたりしないでください。また、電源コードが傷んだり、傷つきますと火災・感電の原因となります。
- 電池を使用した機器内部には電池以外、お客様が修理・交換できる部品はありません。また、AC100Vを使用する機器内部には、お客様が修理・交換できる部品はありません。
- この機器に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水、ジュースなど)を絶対に入れないでください。
- 万一、発煙や本機内部への水や異物などの混入を見つけた場合、本体の電源プラグを抜き当社までご連絡ください。お客様による修理は危険ですのでお止めください。
- 不快な程の大音量で長時間使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になることも考えられます。万一、耳に異常を感じた場合は、専門医師に相談してください。



- 分解・改造などは、行わないでください。品質・安全などが、損なわれる恐れがあります。また、火災・感電の原因となることがあります。



- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップ容量(ワット/アンペア)を超えると発熱し、コードの被膜が溶けることがあります。



- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。



注意

使用上の注意

- 薬品、ほこり、高周波を発生する機器(テレビ、ラジオなど)のそばには設置・使用はしないでください。



電源・電池に関する注意

- 電池を使用する際、保証期間内の指定の電池をお使いください。また、電池は＋を確認して入れてください。
- 長期間使用しない時は、本体から電池をはずしてください。電池の液漏れにより内部が破損します。電池の液漏れによる故障については当社では保証致しかねます。
- 使用済の電池を火中に投げ込まないでください。
- 長時間使用しない場合、または、使用時以外には電源コード及び、ACアダプターをコンセントから必ず抜いてください。
- 電源コードまた、ACアダプターをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグまたは、ACアダプター本体を持って、抜いてください。
- 電気用品安全法に基づく安全性確保のため、当製品に付属の電源コードセットを必ずご使用ください。またこの電源コードセットを他の製品にはご使用にならないでください。電源コードセットとは、電線(コード、ケーブル)が一体になったものです。製品に対し、着脱可能な構造となっています。



真空管アンプ製品の注意

- 真空管を使用しているアンプ製品は、発熱作用により高温になる製品がありますので、電源を入れているときは、直接真空管に触れないでください。火傷などを負う場合があります。



この度はB-450A・B-450Fをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を正しく末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになり、性能を最大限に発揮させ、本物のサウンドをぜひご堪能ください。

目次

- ・はじめに..... 1
- ・B-450A/F 共通特長・特長..... 2
- ・B-450A各部名称とはたらき..... 3～4
- ・B-450F各部名称とはたらき..... 5～6
- ・B-450A/Fリアパネル..... 7～8
各部名称とはたらき端子
- ・製品仕様..... 9
- ・ALBIT 35年の歴史..... 10～11

はじめに

この度はB-450A・B-450Fをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。心から御礼申し上げます。

1985年にPAオペレーターの経験から、従来の一般的なベースアンプのEQ特性と根本的に異なった、聴感上でイメージした4バンドEQを搭載したB-200を発表し、日本製ベースアンプに新たな概念を誕生させました。

B-200は、2015年の現在でも現役で、多くの演奏家の方々に、また親子2代に渡って愛用されている方もいらっしゃいます。

今回発表したB-450A・B-450Fは、弊社の35周年モデルとして、従来のサウンドをベースに、長年築き上げたサウンドを更にグレードアップを目指し、音に透明度を付加させた新たな上質でクリアなサウンドを誕生させました。

B-450Aは、ALBITの4バンドEQを搭載したモデルで、B-450Fは、アメリカンサウンドをイメージしたEQを搭載したモデルです。

これら2種のモデルは、演奏家の個性ともいえる繊細なタッチのニュアンスを、スピード感のあるリアルなサウンドで再現します。また、楽器製作家のポリシーと精魂込めて作り上げた楽器のサウンドを、余すことなく最大限発揮できる、ベースサウンドの頂点を極めた、今までにない至高のサウンドを目指しました。

微力ですが、音を出す楽しさで愛着が湧く存在に繋がれば光栄です。

アルビットコーポレーション 代表取締役 中沢喜代志

B-450A・B-450Fの共通特長

- 電源には音圧感や音量感に優れたトランスを採用しました。トランスを搭載したことによる大型化・重量化を極力回避するために、新しいタイプの小型・軽量トランスを採用（従来製品に比べ3割減）し、重量約7kgで出力450W（4Ω使用時）を実現させました。
- 従来のALBITのベースアンプの回路を更に音質向上のために見直し、再設計したことで音の透明度をワンランク上のサウンドに近づけました。また、プリアンプ部には、回路の各所に選別した真空管（12AX7を2本）と、ICのハイブリッド構成を多く取り入れ、さらに音のスピードと音質が向上しました。
- パワーアンプ部はパワー管交換などから生じるメンテナンスの負担を減らすため、トランジスタを採用しています。
- トーンコントロールとの併用で、スラップ時に威力を発揮するノッチコントロールを採用しました。
- MASTERコントロールを採用したことで、ミキサーやPA送りなどのセッティングを変えることなく、ステージ上のエンクロージャーの音量を自由にコントロール可能です。
- ライブ演奏時やレコーディング時に、ミキサーやPAにバランス信号を送るBALANCE OUTを装備しました。また、その出力の取り出すポイントを変えるBAL. OUT SELECTスイッチを採用しています。
- BALANCE OUTから出力される信号を調整できるLINE LEVELコントロールを採用しました。
- TUNER OUT・MUTEスイッチを併用することで音を出さずにチューニング可能です。
- エフェクトループには、SEND・RETURNそれぞれに独立したコントロールを装備したことにより、接続したエフェクターを最適にセットアップが可能です。
- エフェクトループに接続したエフェクターの位相を切り替えることができるPHASEスイッチを装備しました。
- INPUTには、ハイインピーダンス回路のPASSIVEと、ローインピーダンス回路のACTIVEを装備しました。

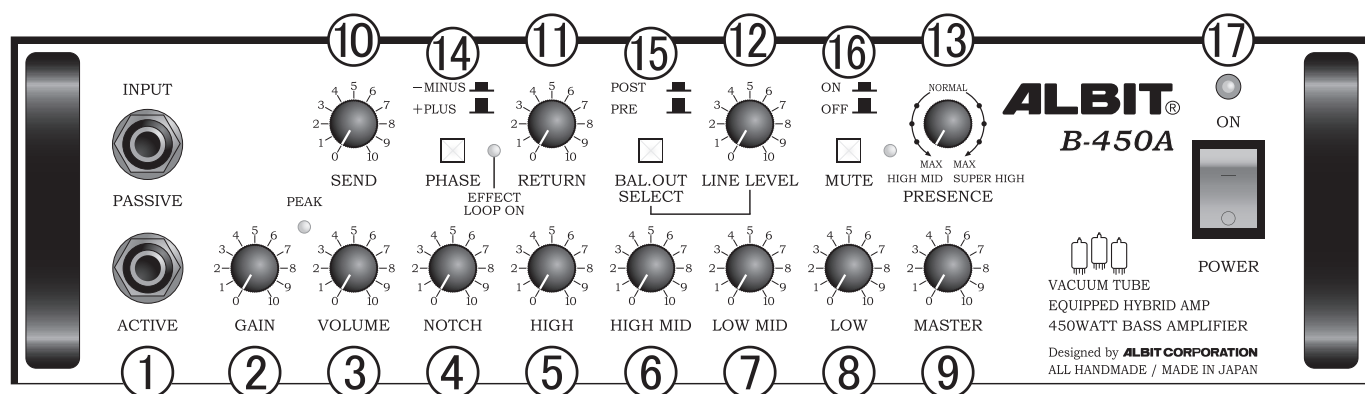
B-450Aの特長

- ALBITのベースアンプ「B-200」の流れを汲む、進化したアルビットオリジナルの4バンドトーンコントロールを採用しています。
- PRESENCEコントロールは、設定により2系統のサウンドが選択可能です。
- 楽器の出力の違いを、最終的な状態にセットアップできるGAINコントロールを採用したことにより、輪郭のある骨太なサウンドが飛び出します。

B-450Fの特長

- ALBITのプリアンプ「A1FD pro」の流れを汲む、アメリカンサウンドを醸し出す3バンドトーンコントロールを採用。
- ALBITオリジナルのCROSSコントロールを装備。3バンドトーンコントロールによる音作りの幅が、従来のコントロールに比べ大幅に広がりました。
- BRIGHTスイッチ回路を独立させたことにより、他コントロールに影響されません。

B-450A 各部名称とはたらき



① INPUT PASSIVE/ACTIVE

楽器を接続する入力端子です。通常は、PASSIVE側にはパッシブベースを、ACTIVE側にはアクティブベースを接続してください。アクティブベースをPASSIVE側に接続することも可能です。

② GAIN

ヘッドルームのゲインを調整するコントロールです。右に回すほどゲインが増幅します。強いアタックでコントロール右上の「PEAK」のLEDが、時々点灯する位置にセットしてください。

③ VOLUME

プリアンプ部のボリュームです。右に回すほど音量が上がります。

④ NOTCH

全体の特性から中音域のみをカットするコントロールです。右に回すほど中音域がカットされます。スラップ時に特に効果を発揮します。

⑤ HIGH

高音域を調整するコントロールです。「5」の位置でフラットになります。右に回すほどブーストされます。

⑥ HIGH MID

中高音域を調整するコントロールです。「5」の位置でフラットになります。右に回すほどブーストされます。

⑦ LOW MID

中低音域を調整するコントロールです。「5」の位置でフラットになります。右に回すほどブーストされます。

⑧ LOW

低音域を調整するコントロールです。「5」の位置でフラットになります。右に回すほどブーストされます。

⑨ MASTER

全体の音量を調整するコントロールです。それぞれセットされたレベルを変えずに音量を調整します。

⑩ SEND

リアパネルの⑤SEND端子から出力されるレベルを調整するコントロールです。⑩SENDと⑪RETURNが「5」の位置でエフェクトループのオン/オフ時のレベルの差がほぼ同じになります。エフェクトループを使用した際に、⑩SENDを上げた設定と、⑪RETURNを上げた設定では、⑩SENDを上げた設定の方がノイズに有利になるため、はじめに接続したエフェクターの入力が潰れる直前まで⑩SENDを上げてください。その後、接続したエフェクターのエフェクトをオン/オフし、オン/オフ時が同じ音量になるように⑪RETURNを調整してください。

⑪ RETURN

リアパネルの④RETURN端子からパワーアンプ部に送るレベルを調整するコントロールです。

⑫ LINE LEVEL

リアパネルの⑨BALANCE OUTから出力される信号を調整するコントロールです。入力レベルが-20dBのミキサーなどに接続する場合は、「3」の位置にセットしてください。最大にすることで0dBにて出力されます。

⑬ PRESENCE

「NORMAL」の位置で他コントロールの「0」の状態です。左に回すとジャズベースなどに最適な中高域がブーストされます。右に回すとスラップに最適な高域のみをブーストされます。この時に④NOTCHを併用してください。

⑭ PHASE

エフェクトループに接続したエフェクターの位相を切り替えるスイッチです。接続エフェクターにより位相が逆相になった場合（稀に起きることがあり、逆相になった場合は、特に低音域がなくなり、アンサンブルでの音の厚みが出にくくなります）、スイッチを-MINUS側にセットしてください。

更にステージ上でPAとの位相が逆相の場合、リアパネルの④SENDと⑤RETURNを、短めのシールドコードで接続し、このスイッチを操作することで位相を変えることができます。この時に⑩SENDと⑪RETURNは、「5」の位置にセットしてください。

⑮ BAL. OUT SELECT

リアパネルの⑨BALANCE OUTからの出力を取り出すポイント変えるスイッチです。POST側（PREAMP OUT）で、トーンコントロール（⑨MASTER、⑬PRESENCEを除く）など含め全体が機能します。

PRE側では、ヘッドアンプからのダイレクトな出力になり、楽器本来の出力を取り出せます。※PRE側にセットした場合、⑨BALANCE OUTからの出力はミュートできません。

⑯ MUTE

チューニング時など音を消したい場合にONの位置にセットしてください。ミュート時はスイッチ右側のLEDが赤く点灯します。

⑰ POWER

電源スイッチです。上側の「-」の位置でスイッチオンになります。スイッチオン時には電源スイッチ上のLEDが点灯します。

セッティングのポイント

■GAINコントロールの設定方法

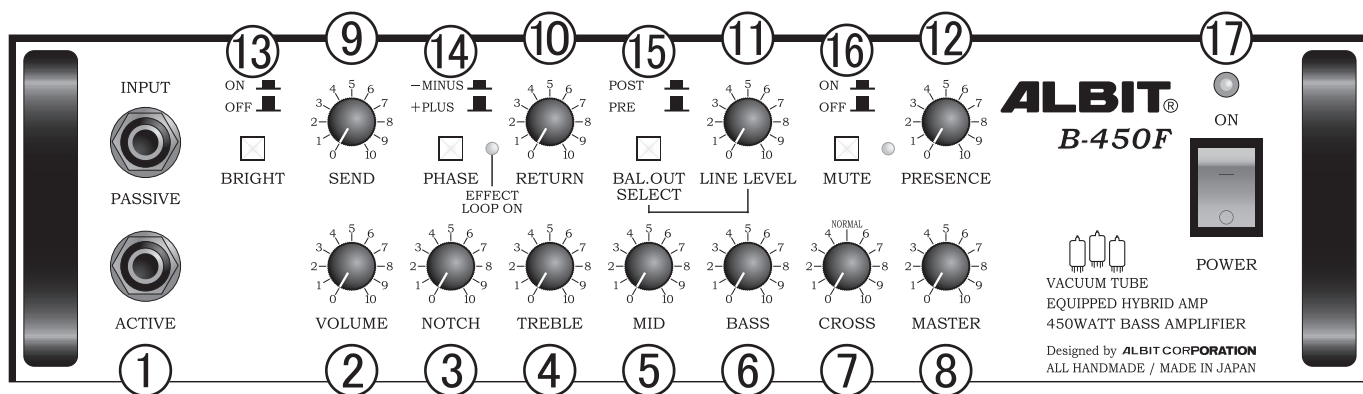
楽器を接続後、③VOLUMEを「0」にして（音が出ない状態）、実際のプレイと同じように演奏しながら、②GAINを上げていき、右上のPEAKのLEDが強いピーキングで時々点灯する位置に設定してください。輪郭のあるサウンドに変化します。

■VOLUME・各トーンコントロール・MASTERの設定方法

⑨MASTERを2～3ほどに設定し、各トーンコントロールを全て最大にしてください。次に徐々に③VOLUMEを上げてください（3～4で十分な音量が出ます）。

音を出しながら、各トーンコントロールを最大から徐々に下げ、好みの音質にそれぞれ設定してください。各トーンコントロールは「5」の位置でフラットになります。なお、各トーンコントロールを下げたことで、全体の音量が下がりますので、⑨MASTERにて最終的な音量に調整してください。

B-450F 各部名称とはたらき



① INPUT PASSIVE/ACTIVE

楽器を接続する入力端子です。通常は、PASSIVE側にはパッシブベースを、ACTIVE側にはアクティブベースを接続してください。アクティブベースをPASSIVE側に接続することも可能です。

② VOLUME

プリアンプ部のボリュームです。右に回すほど音量が上がります。

③ NOTCH

全体の特性から中音域のみをカットするコントロールです。右に回すほど中音域がカットされます。スラップ時に特に効果を発揮します。

④ TREBLE

高音域を調整するコントロールです。右に回すほどブーストされます。

⑤ MID

中音域を調整するコントロールです。右に回すほどブーストされます。

⑥ BASS

低音域を調整するコントロールです。右に回すほどブーストされます。

⑦ CROSS

トーンコントロールの特性を変えるコントロールです。「NORMAL」の位置で一般的なトーンコントロールになり、最大にするとスラップに向けたトーンコントロールになります。

⑧ MASTER

全体の音量を調整するコントロールです。それぞれセットされたレベルを変えることなく音量を調整します。

⑨ SEND

リアパネルの⑤SEND端子から出力されるレベルを調整するコントロールです。⑨SENDと⑩RETURNが「5」の位置でエフェクトループのオン/オフ時のレベルの差がほぼ同じになります。エフェクトループを使用した際に、⑨SENDを上げた設定と、⑩RETURNを上げた設定では、⑨SENDを上げた設定の方がノイズに有利になるため、はじめに接続したエフェクターの入力が潰れる直前まで⑨SENDを上げてください。その後、接続したエフェクターのエフェクトをオン/オフし、オン/オフ時が同じ音量になるように⑩RETURNを調整してください。

⑩ RETURN

リアパネルの④RETURN端子から、パワーアンプ部に送るレベルを調整するコントロールです。

⑪ LINE LEVEL

リアパネルの⑨BALANCE OUTから出力される信号を調整するコントロールです。入力レベルが-20dBのミキサーなどに接続する場合は、「3」の位置にセットしてください。最大にすることで0dBにて出力されます。

⑫ PRESENCE

B-450Aと違い、右に回すほど中高音域がブーストされます。

⑬ BRIGHT

オンにすることでスラップに最適な特に高音域をブーストします。

⑭ PHASE

エフェクトループに接続したエフェクターの位相を切り替えるスイッチです。接続エフェクターにより位相が逆相になった場合（稀に起きることがあり、逆相になった場合は、特に低音域がなくなり、アンサンブルでの音の厚みが出にくくなります）、スイッチを-MINUS側にセットしてください。

更にステージ上でPAとの位相が逆相の場合、リアパネルの④SENDと⑤RETURNを、短めのシールドコードで接続し、このスイッチを操作することで位相を変えることができます。この時に⑨SENDと⑩RETURNは、「5」の位置にセットしてください。

⑮ BAL. OUT SELECT

リアパネルの⑨BALANCE OUTからの出力を取り出すポイント変えるスイッチです。POST側（PREAMP OUT）で、トーンコントロール（⑧MASTER、⑫PRESENCEを除く）など含め全体が機能します。

PRE側では、ヘッドアンプからのダイレクトな出力になり、楽器本来の出力を取り出せます。※PRE側にセットした場合、⑨BALANCE OUTからの出力はミュートできません。

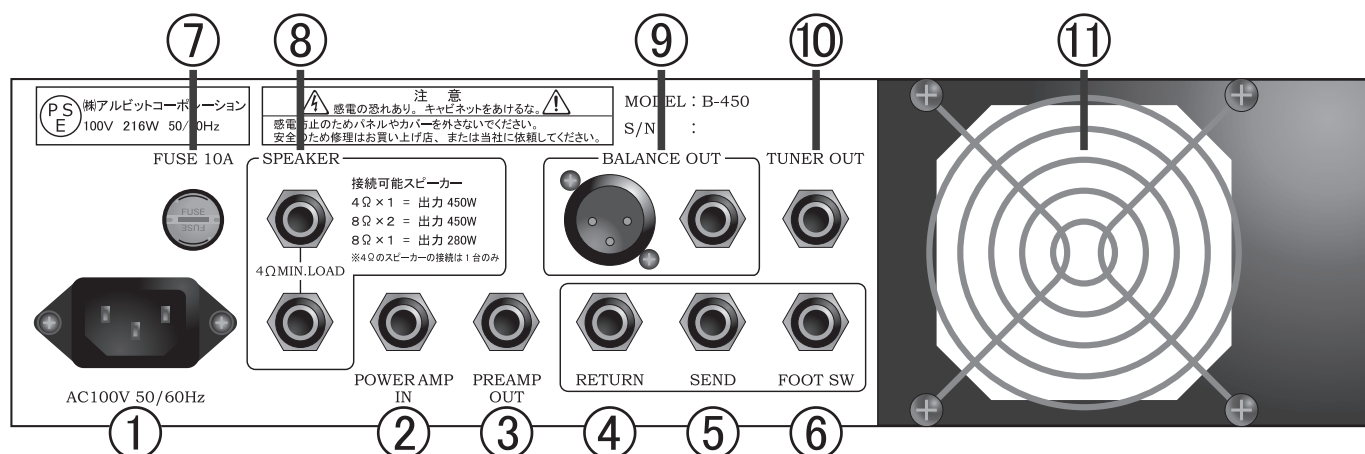
⑯ MUTE

チューニング時など音を消したい場合にONの位置にセットしてください。ミュート時はスイッチ右横のLEDが赤く点灯します。

⑰ POWER

電源スイッチです。上側の「-」の位置でスイッチオンになります。スイッチオン時には電源スイッチ上のLEDが点灯します。

B-450A/F リアパネルの各部名称とはたらき



① ACソケット

本製品に付属する3ピンの電源コードを接続する端子です。

② POWER AMP IN

パワーアンプ部分へのインプット端子です。この端子に接続するとプリアンプ部を経由せずに、直接パワーアンプ部に接続されます。

③ PREAMP OUT

プリアンプ部の出力端子です。

④ RETURN

エフェクトループのリターン端子です。エフェクターなどのアウトプットから接続します。フロントパネルにあるRETURNコントロールにて、パワーアンプ部に送るレベルを調整します。

⑤ SEND

エフェクトループのセンド端子です。エフェクターなどのインプットへ接続します。フロントパネルにあるSENDコントロールにて、エフェクターに入力される信号を調整します。

⑥ FOOT SW

エフェクトループのオン/オフをリモート操作するために、フットスイッチ（別売）を接続する端子です。フットスイッチを使用する場合は、1ボタンのラッチ・タイプを接続してください。なお、エフェクトループのオン時は、フロントパネルの「EFFECT LOOP ON」のLEDが点灯します。

⑦ FUSE 10A

電源ヒューズです。電気システムのトラブルからアンプを守ります。125V 10Aのヒューズを使用します。ヒューズが飛んだ場合は、何らかの原因が考えられますので、交換して使用せずに必ず弊社までご連絡ください。

⑧ SPEAKER

スピーカーのアウトプット端子です。スピーカーの接続・取り外しは、トラブルを回避するために、必ず電源オフの状態で行ってください。また、劣化したスピーカーコードのプラグやコードは、アンプの故障につながるため、使用しないでください。

なお、接続するエンクロージャーのインピーダンスによっても、アンプが故障する恐れがありますので、下記の接続可能なエンクロージャーを必ずお守りください。

接続可能エンクロージャー

- ・トータルインピーダンスが4Ωの場合は1台（出力450W）
 - ・トータルインピーダンスが8Ωの場合は1台（出力280W）、または2台（出力450W）
 - ・トータルインピーダンスが16Ωの場合は1台（出力140W）、または2台（出力280W）
- ※2Ωのエンクロージャーには接続しないでください。アンプが故障します。

⑨ BALANCE OUT

ミキサーやP Aシステムなどに信号を送るバランスアウト端子です。フロントパネルにある「BAL. OUT SELECT」を操作することで、トーンコントロールなどを含めた全体を通った出力、またはヘッドアンプからのダイレクトな出力と切り替えができます。また、「LINE LEVEL」を操作することで、最大0 d Bにて出力されます。

⑩ TUNER OUT

チューニングメーターを接続する端子です。フロントパネルのMUTEスイッチがオンの状態でもミュートされずに信号が出力されます。

⑪ ファン

アンプ内部に、空気を送るための冷却ファンです。常に外気を取り込めるように、アンプ設置時など、この吸気口を塞がないようにご注意ください。また、アンプ両側面にある直径2センチの2つの並んだ丸穴も、冷却ファンより取り込まれた空気の排気口のため、特にラックマウント時など、塞がないように合わせてご注意ください。

なお、この冷却ファンは常に回転しておりますので、回転しているファンの羽根には、危険ですので、手や物を近づけないでください。

製品仕様 B-450A

電源.....	AC100V
真空管.....	12AX7（選別品）×2本
コントロール.....	GAIN・VOLUME・NOTCH・HIGH・HIGH MID・LOW MID・LOW・MASTER・SEND・RETURN・LINE LEVEL・PRESENCE
端子（フロント）.....	INPUT PASSIVE・INPUT ACTIVE
端子（リア）.....	ACソケット・SPEAKER×2・POWER AMP IN・PREAMP OUT・RETURN・SEND・FOOT SW・BALANCE OUT×2（標準フォーン・XLR）・TUNER OUT
スイッチ.....	PHASE・BAL. OUT SELECT・MUTE・POWER
インジケータ.....	PEAK（3Φ赤LED）・EFFECT LOOP ON（3Φ赤LED）・MUTE（3Φ赤LED）・POWER（ブラケット付き3ΦLED）
入力インピーダンス.....	PASSIVE：1MΩ・ACTIVE：100KΩ
実効出力.....	450W／4Ω
外形寸法.....	330mm(W)×281mm(D)×86.7mm(H) ※突起物含まず
重量.....	約7kg
付属品.....	電源コード・スピーカーコード・ラック取付金具×1セット・取扱説明書・保証書

※規格及び、外観は改良のため、予告なく変更する可能性があります。

製品仕様 B-450F

電源.....	AC100V
真空管.....	12AX7（選別品）×2本
コントロール.....	VOLUME・NOTCH・TREBLE・MID・BASS・CROSS・MASTER・SEND・RETURN・LINE LEVEL・PRESENCE
端子（フロント）.....	INPUT PASSIVE・INPUT ACTIVE
端子（リア）.....	ACソケット・SPEAKER×2・POWER AMP IN・PREAMP OUT・RETURN・SEND・FOOT SW・BALANCE OUT×2（標準フォーン・XLR）・TUNER OUT
スイッチ.....	BRIGHT・PHASE・BAL. OUT SELECT・MUTE・POWER
インジケータ.....	EFFECT LOOP ON（3Φ赤LED）・MUTE（3Φ赤LED）・POWER（ブラケット付き3ΦLED）
入力インピーダンス.....	PASSIVE：1MΩ・ACTIVE：100KΩ
実効出力.....	450W／4Ω
外形寸法.....	330mm(W)×281mm(D)×86.7mm(H) ※突起物含まず
重量.....	約7kg
付属品.....	電源コード・スピーカーコード・ラック取付金具×1セット・取扱説明書・保証書

※規格及び、外観は改良のため、予告なく変更する可能性があります。

B-200 ¥140,000



1985年

■B-200

ALBIT初のベースアンプ。それまでの一般的なベースアンプのEQ特性と根本的に異なった、オリジナル4バンドEQを搭載し、多様化したミュージックシーンすべてに対応した。また、オフにもできるプレゼンスコントロールや、エフェクトループやチャンネルデバイダーなども装備するなど、徹底的にこだわり、プロが使用する機能はすべて満載したベースアンプだった。

A1BP ¥92,500

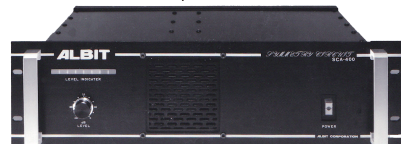


1986年

■A1BP (ラックタイプ)

B-200のプリアンプセクションをアップグレードしたラックタイプのベースプリアンプ。ライブからレコーディングまで、必要と思われる様々な機能を1Uサイズキャビネットにフル装備し、サウンド・エンハンサー、ルーム・イコライザー、チューナーアウトなども内蔵していた。

SCA-400 ¥186,000



1987年

■SCA-400

400Wのモノラルパワーアンプ。大型トランス採用による立ち上がりの良さと楽器専用のシンメトリサーキットが生み出すウォームで力強く、そして輪郭の鮮明なサウンドが特長だった。

B-150 ¥179,000

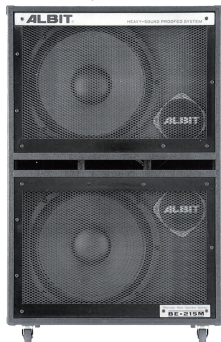


1989年

■B-150

標準から±15dBブースト&カット可能な「ゲインコントロール」により、パッシブ・アクティブ全てのベースに対応した。Low-Bなど、多弦ベースの重低音もサイズからは考えられない迫力で再生し、また、さらに強化された4バンドEQとプレゼンスコントロールにより、地を這うようなベースラインからスラップまで、幅広い音が簡単に創り出せた。

BE-215M ¥189,000



1991年

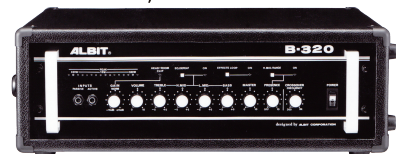
■BE-215M

ヌケの良さとコシの強さを高次元でマッチングさせた、高性能ベースエンクロージャー。音質向上に有利なエンクからダイレクトにラインアウトができる機能も搭載。スピーカーユニットは3.8センチ×2、1.3センチ×2を採用し、音の立ち上がりは抜群だった。

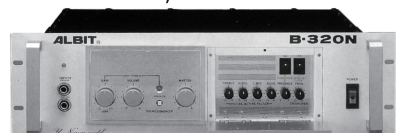
B-220 ¥150,000



B-320 ¥198,000



B-320N ¥198,000



B-280 (キャビタイプ) ¥156,000



1992年

■ B-220 / B-320

アクティブ・パッシブ全てのベースを理想的にコントロールするために、 $\pm 15\text{ dB}$ 可変可能なゲインコントロールと、アクティブ・パッシブ2系統のインプットジャックを装備。さらに新開発4バンドEQにより輪郭のするどい重低音再生を可能にした。プレゼンス部には他に例のなかったHI・MIDレンジスイッチを採用し、スラップから全てのジャンルの音楽に対応した。また、チャンネルデバイダーや、背面にワイヤレスシステム専用のインプットを搭載するなど、当時のアンプでは表現し得なかった新領域を実現した。220Wと320Wの2モデルのラインナップだった。

1994年

■ B-320N

「一生ものの高級オーディオアンプ」のイメージでデザインされたフロントパネル。ゴールドプレートの開閉によるEQパートの操作もそれまでになかったこと。そしてライブやレコーディングなどでの音量設定を、ラインとプレイヤー自身のモニターで別々に操作できる3ボリュームを搭載。また、自分の好みのEQセッティングと、あらかじめローからハイまでクリアーなサウンドカラーに設定されたプリセットEQと瞬時にチェンジできるスイッチもついており、即戦力なスペックが盛り沢山だった。

2001年

■ B-280

B-200の流れを汲み、プリアンプ部のチューブと、ICによるハイブリッド回路を組み込んだモデル。ゲイン、ボリューム、マスターの3ボリューム構成。また、クリーン・チャンネルと、ディストーション・チャンネルの2チャンネル仕様。太くクリアーなサウンドから、ドライブしたサウンドまで、幅広いサウンドシーンをカバーした。また、シリーズではじめてノッチコントロールを装備し、スラップサウンドもカバーした。ラックタイプもあり、162,000円だった。

ALBIT®

ALL BASICS IN TECHNOLOGY OF SOUND

お問い合わせ下記まで

■ALBIT製品全般及び修理のお問い合わせ先

TEL:048-928-1637 FAX:048-922-5742

お電話の受付時間：9:30～12:00、13:00～18:30
(※第4土曜、日曜祝日、弊社指定休業日は除く)

■ALBIT製品全般及の修理お送り先

〒340-0035 埼玉県草加市西町1382-3

株式会社アルビットコーポレーション

■メールのお問い合わせ先

info@albit.jp

■最新情報はホームページにて

<http://www.albit.jp/>

